

第 30 回 YGN 若手勉強会
倫理をを考えてみる

共催： 若手連絡会、倫理委員会（予定）

来る 10 月 15 日（火）、若手連絡会（YGN）は、「倫理をを考えてみる」と題する勉強会を対面形式（今回はオンライン形式はなし）で開催致します。

突然ですが、日本原子力学会の倫理規程を皆様ご存じでしょうか。そもそも倫理を意識する機会がございますか？若手社会人にとっての「倫理」に対しての印象を率直ながら、日本原子力学会誌、[Vol.64、No.9（2022）](#)に記載しております。本稿中にも、記載しておりますが、倫理に関する不祥事は原子力業界以外にも含めて、毎年発生しており、それらをケーススタディとして、なぜそのような判断をしてしまったのか議論しながら、倫理について学びたいと思います。

今回は、原子力業界における倫理的な不祥事として、2021 年に発覚した「柏崎刈羽原子力発電所の ID カード不正使用および核物質防護設備の機能の一部喪失」を題材とします。

普段時間を取って深く考える機会の少ない「倫理」について、若手社会人同士で議論し、倫理の自分事化を図りませんか？原子力に携わるプロフェッショナルであらんとする我々として、倫理観を正しく持ち、倫理的行動を考えてみませんか？

- 記 -

【日時】 2024 年 10 月 15 日（火）17:00-19:00（懇親会（有志）：終了後～21:00）

【場所】 (株)三菱総合研究所 本社会議室（東京都千代田区永田町 2-10-3）
地 図 : <https://www.mri.co.jp/company/access/index.html>
※ご登録者に 10 月 10 日頃に詳細な集合連絡をいたします。

【プログラム】 17:00-17:15 開会挨拶・趣旨説明
17:15-17:35 講演「核セキュリティ事案・グループ討議のテーマ紹介」
(質疑応答含む)
大場 恭子 氏（倫理委員会委員長、JAEA 技術主幹、長岡技大准教授）
神谷 昌伸 氏（倫理委員会幹事、日本原電 執行役員・開発計画室担任）
17:35-18:15 グループ討議
※各グループに倫理委員会委員が 1 名参画予定
18:15-18:55 グループ発表
18:55-19:00 閉会挨拶（終了後～21:00 懇親会（有志））

【講師】

大場 恭子 氏（倫理委員会委員長、JAEA、長岡技科大）

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構技術主幹、国立大学法人長岡技術科学大学工学研究院量子原子力系准教授。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。日本原子力学会フェロー、同学会倫理委員会委員長、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員を務める。また 2021 年には、東京電力 HD の核物質防護に関する独立検証委員会の委員等を務めた。原子力関連施設の社会受容問題を研究対象とする一方で、日本における技術者倫理教育の先駆的役割を果たした金沢工業大学科学技術応用倫理研究所に研究員として勤務し、技術者倫理教育の内容や評価方法についての研究を行った。その後、東京工業大学特任准教授を経て、2015 年度より現職。

神谷 昌伸 氏（倫理委員会幹事、日本原電）

日本原子力発電(株)執行役員・開発計画室担任（敦賀発電所 2 号機担当）。大学院で原子核工学を修了後、1991 年に日本原電入社。敦賀発電所 3,4 号機増設計画、東海第二発電所および敦賀発電所の耐震・津波対策、敦賀発電所敷地内断層評価、規制当局・自治体対応、広報・地域対応に関わる業務に携わる。2023 年より現職。原子力学会の倫理委員会のほか、標準委員会作業会、調査専門委員会等の委員を務める。関心分野は、原子力安全、地震安全、規制政策、倫理、科学技術と社会、リスクコミュニケーションなど。

【参加費】 勉強会：無料、懇親会（有志）：3000~4000 円（税込）程度

【対象】 原則として、39 歳以下の若手社会人・学生が対象です。

・文系理系/専門分野問わず、お気軽にご参加ください。

・本会会員である必要はございません。

【定員】 40 名程度（先着順）

・お申し込み多数の場合、本会会員（正会員、学生会員）を優先させていただきます。

【申込方法】 本勉強会への参加を希望される方は、10 月 9 日（水）17 時までに以下サイトよりお申込ください。

お申込用フォームサイト：<https://forms.office.com/r/QpQ3mkhpY5>

*アクセス不可の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

若手連絡会 川合康太（株式会社三菱総合研究所）

メール：kota_kawai@mri.co.jp

【備考】

◆ YGN 若手勉強会では「チャタム・ハウス・ルール」を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同の上、ご参加ください。

チャタム・ハウス・ルール：

「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、発言者及びその他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。国際会議等の場で率直な議論を促すために多く用いられている。

◆本勉強会へご参加いただいた皆様に、YGN 活動（勉強会や見学会のご案内など）のメールマガジンを配信させていただきます。

【ご紹介】

<若手連絡会とは>

日本原子力学会 若手連絡会は、原子力に携わる若手世代間の連携を強めることで、若手が本来持つ活力を引き出し、その専門性や能力を高める活動を行っています。この活動を通し、原子力全体の活性化を図り、原子力技術の発展、原子力に関する諸問題の解決、そのために必要となる新たな若手の育成に貢献することを目的としています。原子力の専門性を活かし、国・機関を超えた若手の連携によって社会へ貢献すべく、ネットワークの拡充強化を図っていきます。

ホームページ：<https://aesj-ygn.org/>

<YGN 若手勉強会とは>

日常業務に捉われない自己研鑽、分野や所属を超えた繋がりのお機会創出のため、2016年10月より継続的に開催しております。

※第1回～第24回までは下記 URL 参照

<https://aesj-ygn.org/domestic/>

第25回	「健全な「核燃料サイクル」に必要なものとは何だろう」	2022年	2月
第26回	「自身で将来の原子力産業を予測する！！～新型「核燃料サイクルシミュレーター」で定量的に議論～」	2022年	3月
第27回	「海に浮かぶ 原子力発電所～イノベーティブな検討による 1F 事故の反省を踏まえた原子力システム～」	2022年	6月
第28回	原子炉の「廃炉措置」-課題と現状×廃炉ビジネス-	2023年	3月
第29回	NEA から見るカーボンニュートラルに向けた原子力動向	2024年	4月

以上